

町田市資源循環型施設整備事業 環境影響評価書 (pp.140 - 141を抜粋)

c 予測条件

(a) 施設諸元・排出ガス条件

施設諸元・排出ガス条件は、表8.1-56に示すとおりである。なお、施設の稼働時間は、24時間連続稼働とした。

表8.1-56 施設諸元・排出ガス条件

項 目		熱回収施設 (焼却施設)	バイオガス化施設
施設諸元	施設名称	焼却炉 (煙突)	ガスエンジン発電機 (3台)
	施設規模	258t/日 (129t/日・炉×2基)	550kW (3台分)
	煙突及び排気口高さ	地上100m (内筒本数2本)	地上17.5m (3ヶ所：横吹出し)
排出ガス条件	1炉(台)あたりの湿り排出ガス量	33,000m ³ _N /h	—
	1炉(台)あたりの乾き排出ガス量	44,500m ³ _N /h	860m ³ _N /h
	排出ガス温度	180℃	400℃
	吐出速度	25m/s	—
	排出濃度 (自主規制値)	窒素酸化物	30ppm以下
		ばいじん	0.005g/m ³ _N 以下
		硫黄酸化物	10ppm以下
		塩化水素	10ppm以下
		ダイオキシン類	0.01ng-TEQ/m ³ _N 以下
		水銀	0.03mg/m ³ _N 以下
	汚染物質 排出量	窒素酸化物	1.335m ³ _N /h
		ばいじん	0.223kg/h
		硫黄酸化物	0.445m ³ _N /h
		塩化水素	0.445m ³ _N /h
		ダイオキシン類	0.445μg-TEQ/h
		水銀	1.335g/h

注1) 湿り排出ガス量は酸素濃度5%、水分率25%の値を示す。

注2) 乾き排出ガス量及び排出濃度(自主規制値)は、酸素濃度12%換算値を示す。

注3) ろ過式集じん器により粒径10μmを超える粒子は除去されるため、煙突から排出されるばいじんは浮遊粒子状物質として計算した。

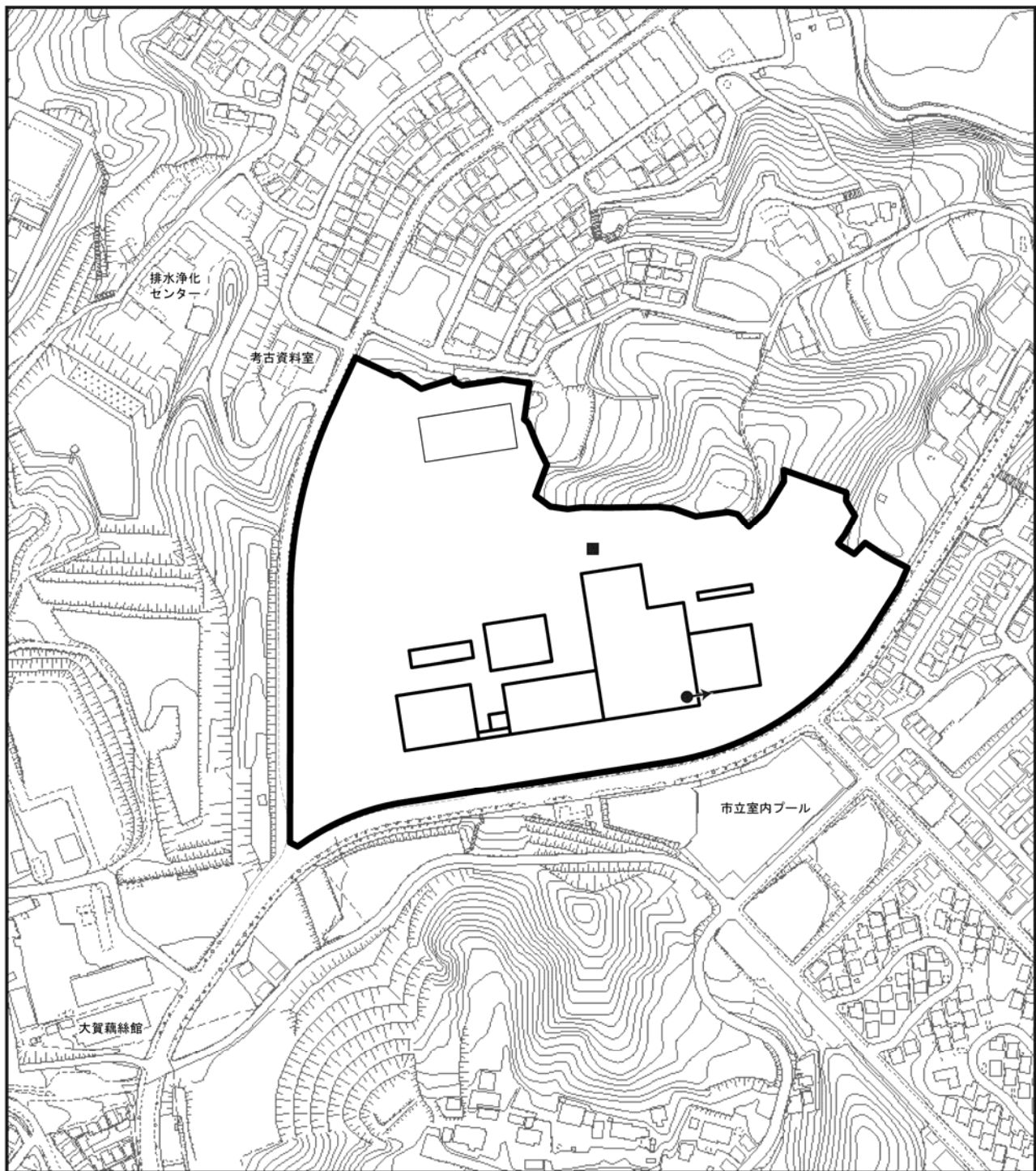
注4) 煙突及びバイオガス化施設排気口の位置は、図8.1-25(p.141)に示す。

(b) 排出源の位置

排出源の位置は、図8.1-25に示すとおりである。

(c) 気象条件

「① 工事の施行中 ア 建設機械の稼働に伴う排出ガス」(p.131)と同様とした。



凡 例



計画地



煙突（地上100m）



バイオガス化施設（ガスエンジン発電機）排気口
（地上17.5m：横吹出し、→ は排気方向）

注）この地図は「H25 町田市共通地形図」を使用して作成したものである。



S=1/4,000

0 40 80 120m

図8.1-25 排出源（煙突及びバイオガス化施設排気口）の位置

■二酸化窒素

表8.1-70(1) 施設の稼働に伴う二酸化窒素の予測結果（長期平均濃度）

単位：ppm

予測地点	バックグラウンド 濃度 ①	施設の稼働に 伴う寄与濃度 ②	将来濃度 (年平均値) ③=①+②	寄与率 ④=②/③×100
最大着地濃度出現地点 (計画地南側敷地境界約 200m)	0.012	0.000582	0.012582	4.6%
No.1：小山田小学校		0.000070	0.012070	0.6%
No.2：図師日向公園		0.000074	0.012074	0.6%
No.3：常盤公園		0.000023	0.012023	0.2%
No.4：図師小学校		0.000163	0.012163	1.3%
No.5：忠生中学校		0.000216	0.012216	1.8%

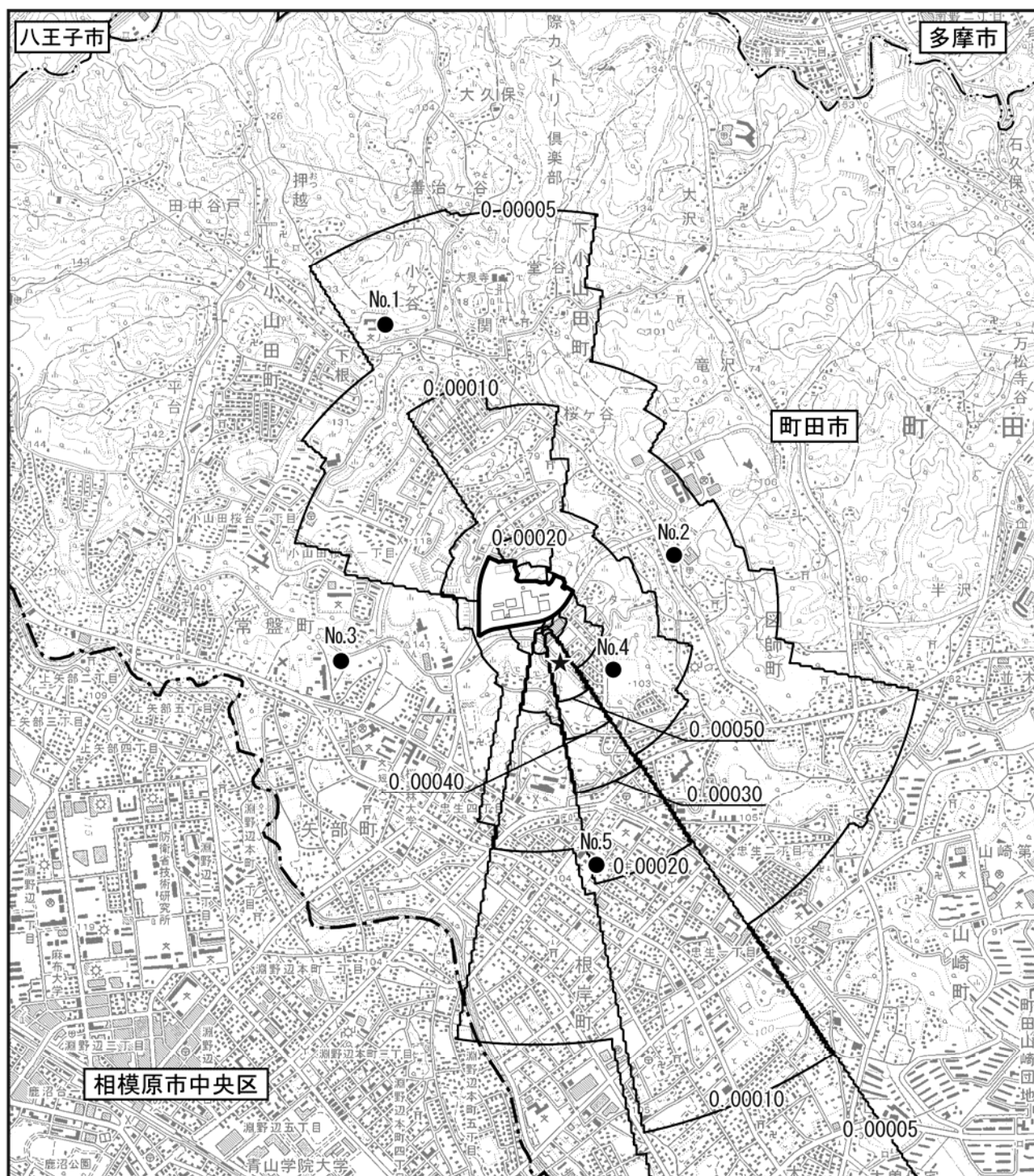
注) 予測地点は、図 8.1-20 (p.126) に示す。

表8.1-81(1) 施設の稼働に伴う二酸化窒素の評価の結果（長期平均濃度）

単位：ppm

予測地点	将来濃度		寄与率	環境基準
	年平均値	日平均値の 年間 98%値		
最大着地濃度出現地点 (計画地南側敷地境界約 200m)	0.012582	0.027	4.6%	日平均値が 0.04ppm から 0.06ppm までの ゾーン内又はそれ以下
No.1：小山田小学校	0.012070	0.027	0.6%	
No.2：図師日向公園	0.012074	0.027	0.6%	
No.3：常盤公園	0.012023	0.027	0.2%	
No.4：図師小学校	0.012163	0.027	1.3%	
No.5：忠生中学校	0.012216	0.027	1.8%	

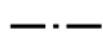
注) 予測地点は、図 8.1-20 (p.126) に示す。



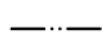
凡 例



計画地



都県界



市区界



等濃度線
(単位: ppm)



最大着地濃度出現地点
(0.000582ppm)



大気質予測地点 (No.1~No.5)

No.1: 小山田小学校

No.2: 図師日向公園

No.3: 常盤公園

No.4: 図師小学校

No.5: 忠生中学校

N



S = 1/25,000

0 250 500 750m

注) この地図は、国土地理院発行の2万5千分の1地形図(武蔵府中、原町田)を使用したものである。

図8.1-29(1) 施設の稼働に伴う二酸化窒素の予測結果(長期平均濃度)

■浮遊粒子状物質

表8.1-70(2) 施設の稼働に伴う浮遊粒子状物質の予測結果（長期平均濃度）

単位：mg/m³

予測地点	バックグラウンド 濃度 ①	施設の稼働に 伴う寄与濃度 ②	将来濃度 (年平均値) ③=①+②	寄与率 ④=②/③×100
最大着地濃度出現地点 (計画地南側敷地境界約200m)	0.019	0.000068	0.019068	0.4%
No.1：小山田小学校		0.000013	0.019013	0.1%
No.2：図師日向公園		0.000011	0.019011	0.1%
No.3：常盤公園		0.000005	0.019005	0.1%未満
No.4：図師小学校		0.000021	0.019021	0.1%
No.5：忠生中学校		0.000033	0.019033	0.2%

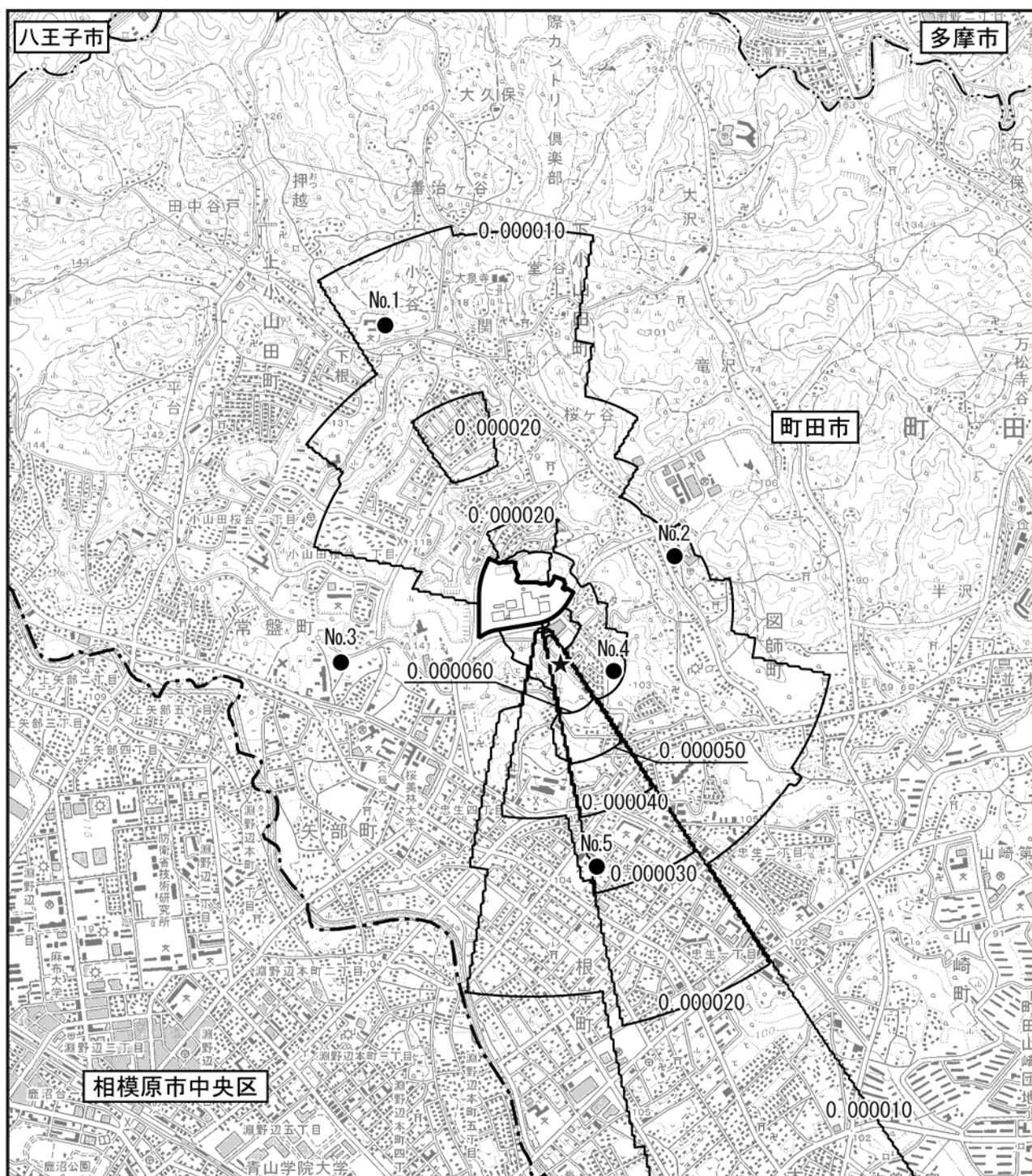
注) 予測地点は、図8.1-20 (p.126) に示す。

表8.1-81(2) 施設の稼働に伴う浮遊粒子状物質の評価の結果（長期平均濃度）

単位：mg/m³

予測地点	将来濃度		寄与率	環境基準
	年平均値	日平均値の 2%除外値		
最大着地濃度出現地点 (計画地南側敷地境界約200m)	0.019068	0.046	0.4%	日平均値が0.10mg/m ³ 以下
No.1：小山田小学校	0.019013	0.046	0.1%	
No.2：図師日向公園	0.019011	0.046	0.1%	
No.3：常盤公園	0.019005	0.046	0.1% 未満	
No.4：図師小学校	0.019021	0.046	0.1%	
No.5：忠生中学校	0.019033	0.046	0.2%	

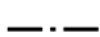
注) 予測地点は、図8.1-20 (p.126) に示す。



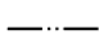
凡 例



計画地



都県界



市区界



等濃度線
(単位 : mg/m^3)



最大着地濃度出現地点
($0.000068\text{mg}/\text{m}^3$)



大気質予測地点 (No.1~No.5)

No.1 : 小山田小学校

No.2 : 図師日向公園

No.3 : 常盤公園

No.4 : 図師小学校

No.5 : 忠生中学校



$S = 1/25,000$

0 250 500 750m

注) この地図は、国土地理院発行の2万5千分の1地形図(武蔵府中、原町田)を使用したものである。

図8.1-29(2) 施設の稼働に伴う浮遊粒子状物質の予測結果(長期平均濃度)

町田市資源循環型施設整備事業 環境影響評価書

(pp.164-165、pp.168-171、pp.191-192を抜粋)

■二酸化硫黄

表8.1-70(3) 施設の稼働に伴う二酸化硫黄の予測結果（長期平均濃度）

単位：ppm

予測地点	バックグラウンド 濃度 ①	施設の稼働に 伴う寄与濃度 ②	将来濃度 (年平均値) ③=①+②	寄与率 ④=②/③×100
最大着地濃度出現地点 (計画地南側敷地境界約 650m)	0.002	0.000035	0.002035	1.7%
No.1：小山田小学校		0.000018	0.002018	0.9%
No.2：図師日向公園		0.000009	0.002009	0.4%
No.3：常盤公園		0.000007	0.002007	0.3%
No.4：図師小学校		0.000008	0.002008	0.4%
No.5：忠生中学校		0.000028	0.002028	1.4%

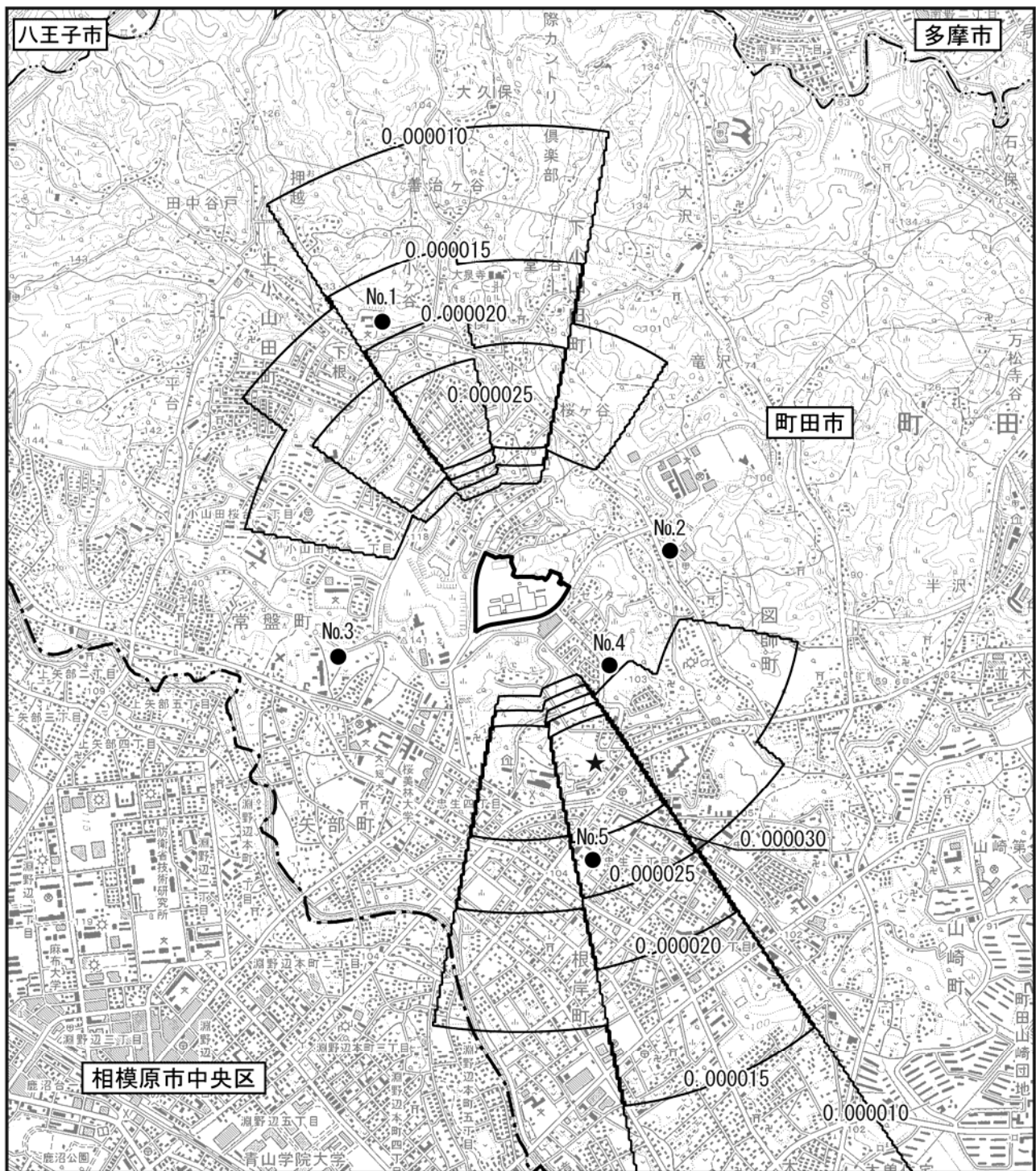
注) 予測地点は、図 8.1-20 (p.126) に示す。

表8.1-81(3) 施設の稼働に伴う二酸化硫黄の評価の結果（長期平均濃度）

単位：ppm

予測地点	将来濃度		寄与率	環境基準
	年平均値	日平均値の 年間 98%値		
最大着地濃度出現地点 (計画地南側敷地境界約 650m)	0.002035	0.003	1.7%	日平均値が 0.04ppm 以下
No.1：小山田小学校	0.002018	0.003	0.9%	
No.2：図師日向公園	0.002009	0.003	0.4%	
No.3：常盤公園	0.002007	0.003	0.3%	
No.4：図師小学校	0.002008	0.003	0.4%	
No.5：忠生中学校	0.002028	0.003	1.4%	

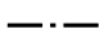
注) 予測地点は、図 8.1-20 (p.126) に示す。



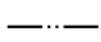
凡 例



計画地



都県界



市区界



等濃度線
(単位: ppm)



最大着地濃度出現地点
(0.000035ppm)



大気質予測地点 (No.1～No.5)

No.1: 小山田小学校

No.2: 図師日向公園

No.3: 常盤公園

No.4: 図師小学校

No.5: 忠生中学校



S = 1/25,000

0 250 500 750m

注) この地図は、国土地理院発行の2万5千分の1地形図(武蔵府中、原町田)を使用したものである。

図8.1-29(3) 施設の稼働に伴う二酸化硫黄の予測結果(長期平均濃度)

■ダイオキシン類

表8.1-70(4) 施設の稼働に伴うダイオキシン類の予測結果（長期平均濃度）

単位：pg-TEQ/m³

予測地点	バックグラウンド 濃度 ①	施設の稼働に 伴う寄与濃度 ②	将来濃度 (年平均値) ③=①+②	寄与率 ④=②/③×100
最大着地濃度出現地点 (計画地南側敷地境界約 650m)	0.018	0.000035	0.018035	0.2%
No.1：小山田小学校		0.000018	0.018018	0.1%
No.2：図師日向公園		0.000009	0.018009	0.1%未満
No.3：常盤公園		0.000007	0.018007	0.1%未満
No.4：図師小学校		0.000008	0.018008	0.1%未満
No.5：忠生中学校		0.000028	0.002028	0.2%

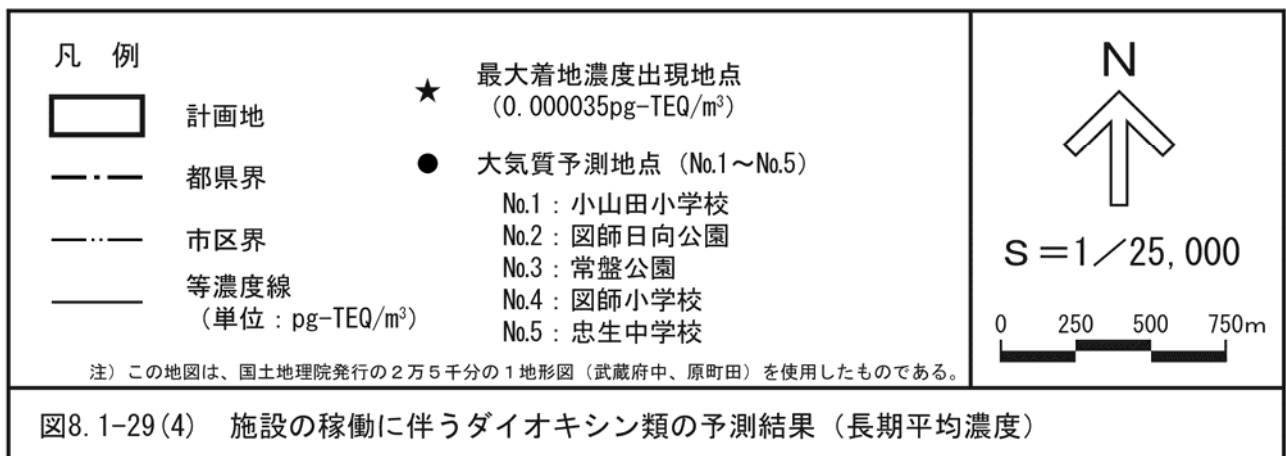
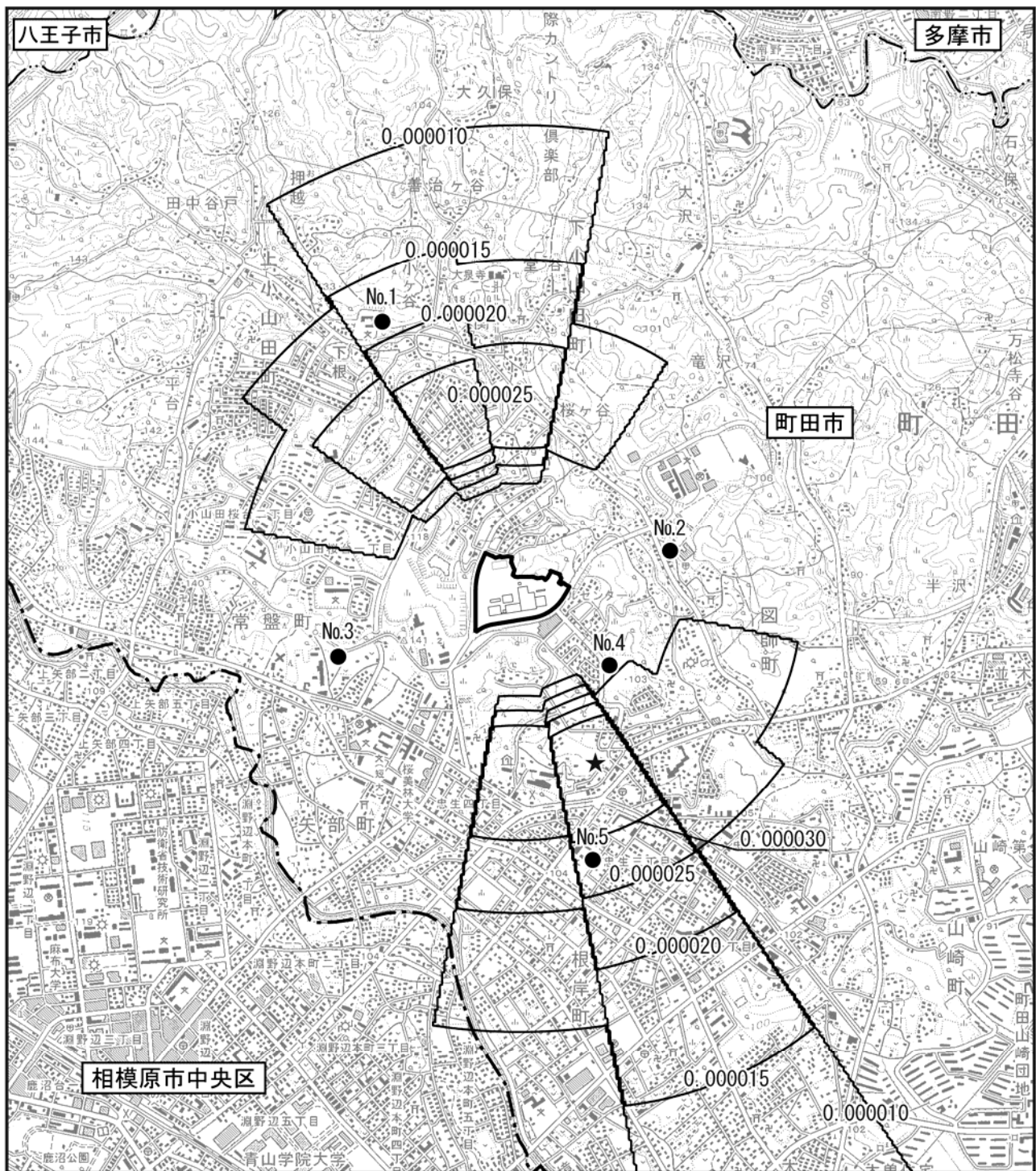
注) 予測地点は、図 8.1-20 (p.126) に示す。

表8.1-81(4) 施設の稼働に伴うダイオキシン類の評価の結果（長期平均濃度）

単位：pg-TEQ/m³

予測地点	将来濃度 (年平均値)	寄与率	環境基準
最大着地濃度出現地点 (計画地南側敷地境界約 650m)	0.018035	0.2%	年平均値が 0.6pg-TEQ/m ³ 以下
No.1：小山田小学校	0.018018	0.1%	
No.2：図師日向公園	0.018009	0.1%未満	
No.3：常盤公園	0.018007	0.1%未満	
No.4：図師小学校	0.018008	0.1%未満	
No.5：忠生中学校	0.018028	0.2%	

注) 予測地点は、図 8.1-20 (p.126) に示す。



■塩化水素

表8.1-70(5) 施設の稼働に伴う塩化水素の予測結果（長期平均濃度）

単位：ppm

予測地点	バックグラウンド 濃度 ①	施設の稼働に 伴う寄与濃度 ②	将来濃度 (年平均値) ③=①+②	寄与率 ④=②/③×100
最大着地濃度出現地点 (計画地南側敷地境界約 650m)	0.001	0.000035	0.001035	3.4%
No.1：小山田小学校		0.000018	0.001018	1.8%
No.2：図師日向公園		0.000009	0.001009	0.9%
No.3：常盤公園		0.000007	0.001007	0.7%
No.4：図師小学校		0.000008	0.001008	0.8%
No.5：忠生中学校		0.000028	0.001028	2.7%

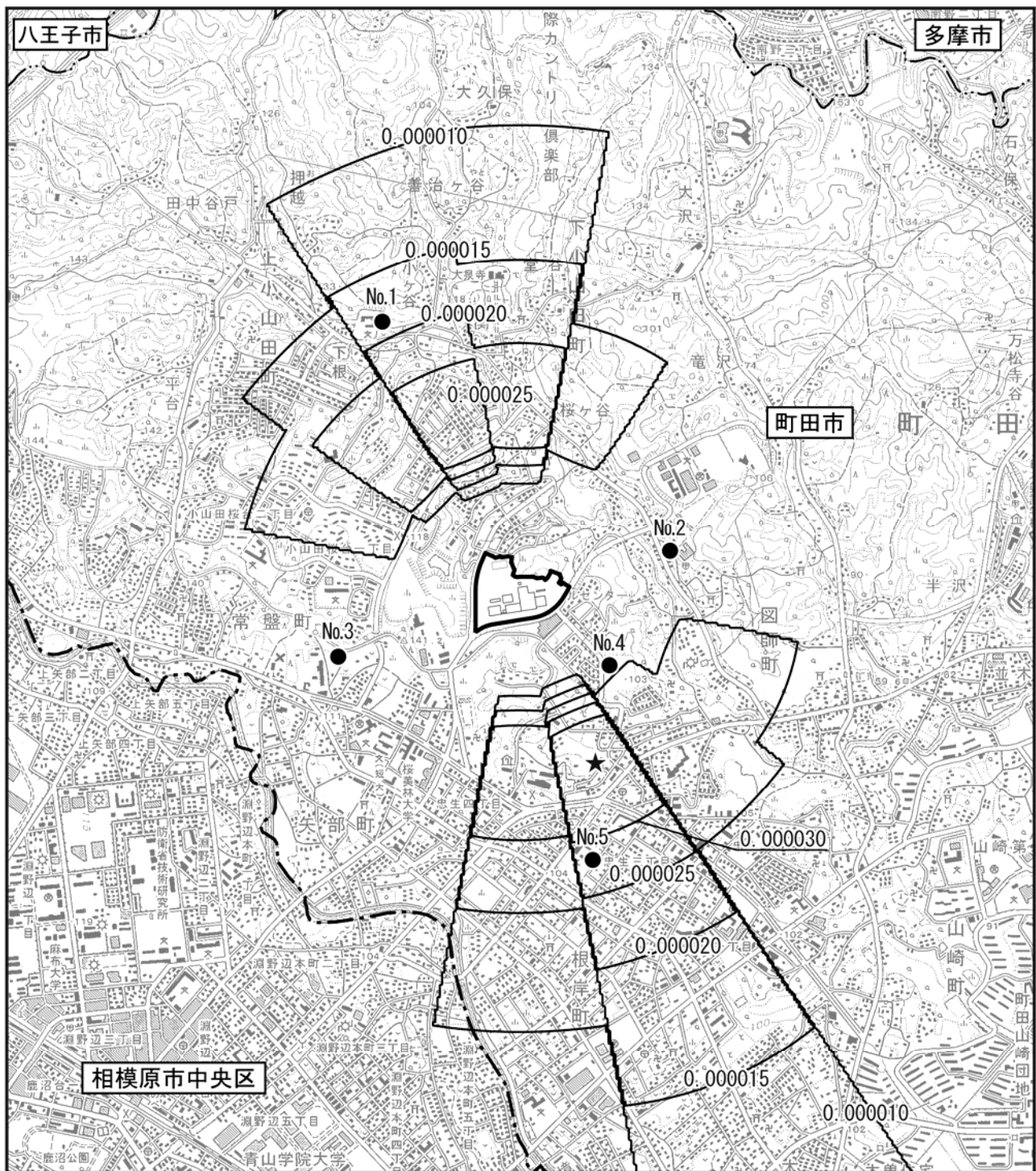
注) 予測地点は、図 8.1-20 (p.126) に示す。

表8.1-81(5) 施設の稼働に伴う塩化水素の評価の結果（長期平均濃度）

単位：ppm

予測地点	将来濃度 (年平均値)	寄与率	目標環境濃度
最大着地濃度出現地点 (計画地南側敷地境界約 650m)	0.001035	3.4%	0.02ppm 以下
No.1：小山田小学校	0.001018	1.8%	
No.2：図師日向公園	0.001009	0.9%	
No.3：常盤公園	0.001007	0.7%	
No.4：図師小学校	0.001008	0.8%	
No.5：忠生中学校	0.001028	2.7%	

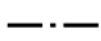
注) 予測地点は、図 8.1-20 (p.126) に示す。



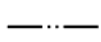
凡 例



計画地



都県界



市区界



等濃度線
(単位: ppm)



最大着地濃度出現地点
(0.000035ppm)



大気質予測地点 (No.1～No.5)

No.1: 小山田小学校

No.2: 関師日向公園

No.3: 常盤公園

No.4: 関師小学校

No.5: 忠生中学校



S = 1/25,000

0 250 500 750m

注) この地図は、国土地理院発行の2万5千分の1地形図(武蔵府中、原町田)を使用したものである。

図8.1-29(5) 施設の稼働に伴う塩化水素の予測結果(長期平均濃度)

■水銀

表8.1-70(6) 施設の稼働に伴う水銀の予測結果（長期平均濃度）

単位： $\mu\text{g}/\text{m}^3$

予測地点	バックグラウンド 濃度 ①	施設の稼働に 伴う寄与濃度 ②	将来濃度 (年平均値) ③=①+②	寄与率 ④=②/③×100
最大着地濃度出現地点 (計画地南側敷地境界約 650m)	0.0013	0.000105	0.001405	7.5%
No.1：小山田小学校		0.000055	0.001355	4.1%
No.2：図師日向公園		0.000026	0.001326	2.0%
No.3：常盤公園		0.000021	0.001321	1.6%
No.4：図師小学校		0.000023	0.001323	1.7%
No.5：忠生中学校		0.000084	0.001384	6.1%

注) 予測地点は、図 8.1-20 (p.126) に示す。

表8.1-81(6) 施設の稼働に伴う水銀の評価の結果（長期平均濃度）

単位： $\mu\text{g}/\text{m}^3$

予測地点	将来濃度 (年平均値)	寄与率	指針値
最大着地濃度出現地点 (計画地南側敷地境界約 650m)	0.001405	7.5%	0.04 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下
No.1：小山田小学校	0.001355	4.1%	
No.2：図師日向公園	0.001326	2.0%	
No.3：常盤公園	0.001321	1.6%	
No.4：図師小学校	0.001323	1.7%	
No.5：忠生中学校	0.001384	6.1%	

注) 予測地点は、図 8.1-20 (p.126) に示す。

